

# ふくしまエコオフィス実践計画の改定（案）等について

## ・ふくしまエコオフィス実践計画の改定（案）について



### 趣旨

○2022年5月に県は、「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」を策定・公表し、民生業務部門は温室効果ガス排出量を2013年度比で64%削減することとした。本ロードマップに基づき、県も省資源・省エネルギーの取組を推進するため、本計画を改定する。

### 主な改定の内容

#### ①温室効果ガスの排出量の削減目標の改定（2013年度比）

|                                   | 現行計画 | 改定案               |
|-----------------------------------|------|-------------------|
| ○温室効果ガス排出量                        | ▲50% | ▲64%<br>(▲14%上乘せ) |
| 【上記温室効果ガス排出量削減上乘せの内訳】             |      |                   |
| ●電気使用量減<br>(▲6.25%⇒▲30.9%)        | ▲4%  | ▲17%<br>(▲13%上乘せ) |
| ●ガソリン・軽油<br>使用量減<br>(▲45%⇒▲52.9%) | ▲7%  | ▲8%<br>(▲1%上乘せ)   |

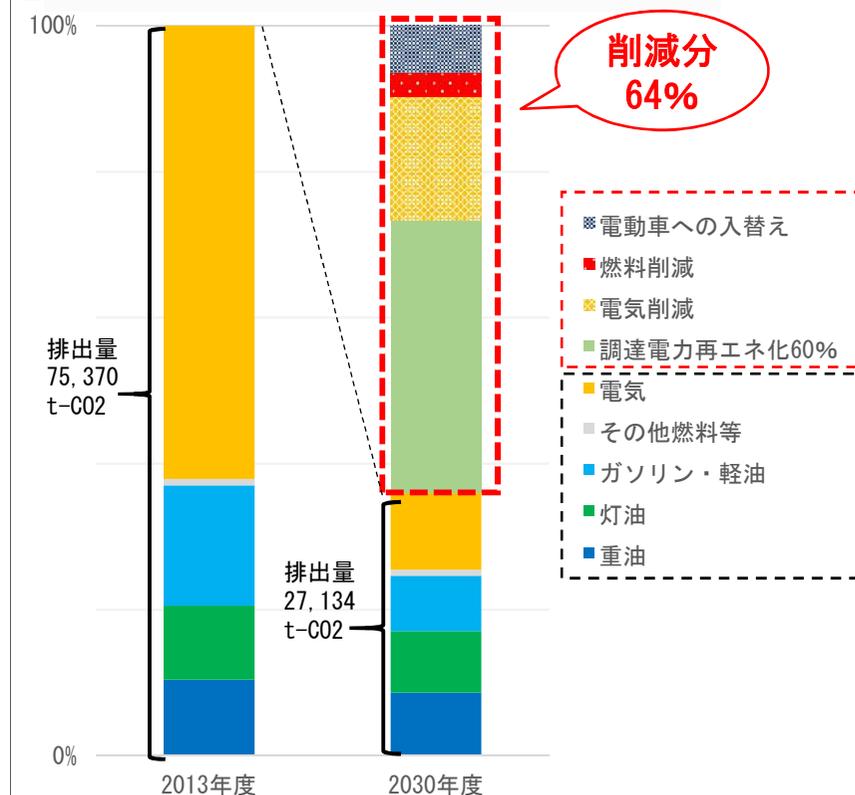
上記排出量削減目標の改定により必要となる各種環境目標の数値の改定等も併せて行う。

②各部局等において、カーボンニュートラル実現に向けた環境方針及び削減目標を毎年度策定する。

### 引き続き推進する事項

○LED照明の導入 ○県有建築物のZEB化 ○公用車の100%電動化 ○調達電力の60%以上再エネ化

### 温室効果ガス排出量目標



# ふくしまエコオフィス実践計画の改定（案）等について

・地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した県有施設脱炭素推進5か年プラン（案）について



## 趣旨

○「ふくしまエコオフィス実践計画」に基づき、県有施設へ脱炭素設備を導入するため、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用する事業を中心に、具体的な取組方針や導入目標等を定めるものである。

■ プランの期間 策定から概ね5年間

■ プラン期間内の目標

### ◇太陽光発電設備の導入

設置可能な建築物（敷地を含む。）への新たな導入：約2,300kW



環境創造センター

【導入状況】 42施設 計1,577.06kW  
※宮繕課調べ R4.3月現在

### ◇高効率照明機器（LED）の導入

合同庁舎、県立学校、社会教育施設、研究機関など  
約50施設



### ◇公用車の電動化（電気自動車の導入及び充電設備の整備）

電動車200台 うち電気自動車100台  
※電動車：電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車

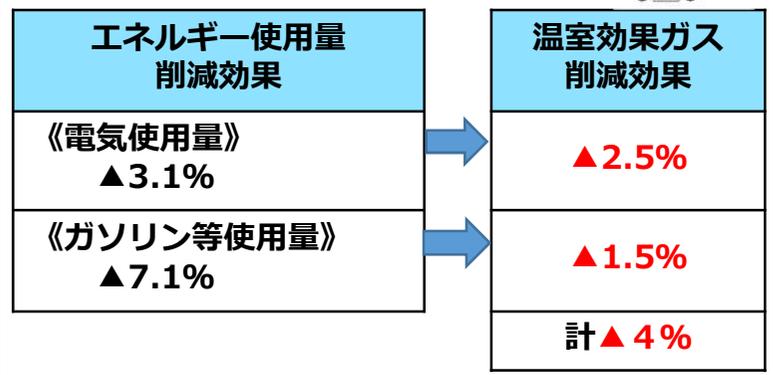
【公用車の電動化状況】16.8%（うち、電気自動車1.5%）  
※R4.8月現在

### ◇充電設備の整備

県庁舎及び合同庁舎への普通充電設備整備



■ ふくしまエコオフィス実践計画  
目標達成への効果（2013年度比）



■ 推進体制

